

# 中国における日本アニメーションのネットワーク流通:ファンサブに関する研究

47-106720 陸 慧瑛  
指導教員 濱野 保樹 教授

Contents industries as China's emerging industries, has a strong market space. 80's as China's current economic subject, have deeply impact by Japanese anime since there were childhood. But the Chinese government for the protection of the domestic animation market, and gradually banned overseas animation broadcast in China. In addition, with the development of the network, fansub group has quietly risen in China, and it has been developed and expanded. Now, it has reached the status can not be shaken. However, the impact of China's audio-visual market, the chinese fansub group does not have any of their birth, development, status, and operation research. This paper will be on the basis of animation market in China to make a detailed study.

Keyword: animation, internet, market, fansub, china

## 1 緒言

中国では1980年代から日本アニメーションの影響を受けており、日本アニメーションが好きな視聴者が育っていた。しかし、中国政府は海外映像作品を厳しく規制し、海賊版の取り締まりも厳しくなっている。

政府規制のために海外作品を見る手段として、インターネットの無料ダウンロードである視聴方法登場した。しかし、インターネットで流通する作品はオリジナル映像のみなので、より多くの中国人視聴者が作品を理解するために、「ファンサブ」というボランティア組織が誕生した。

### 1.1 研究意義

ファンサブは海外で違法行為となされているが、中国では日本アニメーションを始め、アメリカドラマ、日韓ドラマ番組など様々な海外映像作品の主要な視聴手段はファンサブになっている。しかし、違法とみなされているため、これまでファンサブに関する研究はほとんどなされておらず、研究の意義は下記の点にある。

- ① ファンサブに関する研究の新規性
- ② 中国におけるインターネットによる視聴手段の重要性
- ③ 海外作品の中国市場への進出の可能性

ファンサブに関する研究は違法性の故に困難であり、外国人では研究は不可能に近く、中国国内にも研究やデータが限られていて、ファンサブのメンバーに接触を必要とする研究は不可能に近い。

したがって、ファンサブの研究は今後のネットワーク流通に知見をもたらすだけでなく、日本のコンテンツ流通にとっても重要な意義がある。

## 2 目的

中国における日本アニメーション視聴は海賊版からインターネットのファンサブによる視聴形態に変わり、ファンサブが主たる接触手段となった。ファンサブの研究は急務であるが、ファンサブの特殊性を考え、研究対象として捕捉することが困難である。海外ではファンサブに関する研究は違法問題と作品の字幕翻訳に着目し、極僅かな研究はあるものの、中国におけるファンサブの誕生、歴史、発展、運営、実態、作品の作業工程などの総合的な研究はない。その上、海外作品に対して閉鎖的な中国への日本アニメーションが中国へ進出することに関しても、ファンサブは重要なルートの一つであると考えられ、本研究は以下の

ような順番に従い、ファンサブに関する総合的な研究を行う。

- (1) 既存データによるファンサブ実態
- (2) ファンサブに関する視聴実態、ファンサブ数、視聴量
- (3) ファンサブの作業工程
- (4) ファンサブ・メンバーの意識調査

以上4つの研究はそれぞれ研究Ⅰ～Ⅳとして下記に述べる。

## 3 研究Ⅰ：実態調査

### 3.1 方法

#### ①文献収集(研究Ⅰ以外に研究Ⅱ、Ⅲにも用いる)

本研究に関係ある学術論文、報告書、一般書籍、ネット記事を収集する。

#### ②インタビュー(研究Ⅰ以外に研究全体にも用いる)

中国ファンサブは違法という特殊性の故に、研究や情報は少ないが、見つけ出したに日本に留学する元メンバーによって、紹介してくれたファンサブ元リーダーたちへのインタビューは重要な一時情報となり、情報の信頼性が高いと考えられる。ただし、「元」ということは本職が多忙のため、既にファンサブの仕事を辞めたため、インタビューの行う時間を何度も調整した。情報と作業工程に関するインタビュー実施時間と方法は下記のようなものである。

##### ①「動漫之家」の元リーダー

時間：2011年6月5日、17時(日本時間)、約45分

2011年12月15日、13時(日本時間)、約30分

方法：QQ(インスタントメッセージ)

##### ②「動漫花園」の元リーダー

時間：2011年10月11日、16時(日本時間)、約1時間

2011年10月17日、14時(日本時間)、約30分

2011年12月15日、14時(日本時間)、約1時間

方法：QQ(インスタントメッセージ)

### 3.2 結果

吳矯の『伝播学視覚下の国内日本動漫字幕組研究』に基づき、インターネットで中国ファンサブに関連する既存情報を可能な限り収集し、さらにインタビューを通して得た一次情報とともに、中国ファンサブの誕生、発展経路を研究した。その結果は次のようになる。

#### ①中国ファンサブの定義

ファンサブ(中国語で「字幕組」と呼ぶ)とは、インターネットのブロードバンドの普及によって、海外のさまざまな

作品に中国語の字幕を付けるという民間ボランティア組織である。

## ②ファンサブの誕生と発展

中国視聴者が中国政府により、海外作品を制限し、それを見たいニーズが生み出しを初め、海賊版の品質の劣化を契機に、個人で海外作品に字幕をつける意識が生まれ、ブロードバンドの普及により、個人行為から同じ趣味を持つ人々が集まり、作った組織である。さらに、インターネット速度の速さと P2P ソフトウェアによる費用の無料化とともに、ファンサブは発展を遂げた。

## ③ファンサブの現状

作品の愛情、言語の学習などの理由によって、ボランティアでのファンサブを続けているが、次のような問題点を抱えている。

- 1) ファンサブ間の不正競争
- 2) 法律問題による不安さ
- 3) 運営サイトの管理

## 4 研究Ⅱ：視聴実態

### 4.1 方法

#### ①データの集積（研究Ⅱに用いる）

今まで中国ファンサブに関する研究はないため、ファンサブに関連する視聴データはないと等しい。視聴データを集積するため、その方法は下記ようになる。

#### ①日本アニメーション・ファンサブ数

期間：2011年6月～12月

時間：毎月の月末

方法：1) ダウンロードサイトで連盟サイトを記録する  
2) 記録したファンサブを GOOGLE で実態を検査する。

3) GOOGLE で 50 ページ（1 ページ当たり約 10 件）を検索する。

#### ②視聴量

期間：2011年4月29日～5月31日

2011年10月1日～10月31日

対象：PPS.tv のオンライン視聴者

「動漫花園」の一番多いダウンロードの完了数  
「動漫花園」の一番目と二番目速くアップロードしたファンサブの完了数

時間：期間中の夜、日本時間 10 時

#### ③「ワンピース」の視聴人数

時間：12月31日、日本時間 10 時～13 時

1月1日、日本時間 11 時～13 時

対象：「ワンピース」

収集話数：1 話～529 話

方法：「極影」のダウンロード完了数

「土豆」の視聴回数

「ビデオリサーチ」の日本関東地域の世帯視聴率

視聴率からの視聴世帯の推定は：

関東地域視聴率%×177,910（1%あたり）＝関東地域の視聴世帯数世代視聴率

### 4.2 結果

文献とインタビューにより、中国でファンサブを通す視聴方法は 3 つある。

#### ①ダウンロード（P2P）

P2P の関連ソフトウェアを通して、インターネットから作品をダウンロードし、PC で再生する。

#### ②動画共有サイト

ダウンロードしらず、インターネットで直接視聴する。

#### ③インターネットテレビ

インターネットテレビの関連ソフトウェアを PC にダウンロードしえ、インターネットした後、ソフトウェアを通して視聴する。

中国ファンサブに関する視聴量の分析結果として次のようになる。

#### ①ファンサブ数

Table.1. に中国にあるアニメーションのファンサブリストの一部を示す。毎月一回リストを更新し、最新の結果はアニメファンサブが少なくとも 215、ダウンロードサイト付のファンサブが少なくとも 4、原因不明でアクセス出来ないファンサブが少なくとも 4、原因があり、閉じられたファンサブが少なくとも 1、ダウンロードサイト付のファンサブに加盟したのは少なくとも 110 がある。ファンサブの仕事分野はアップロードを除き、7 つがある<sup>1</sup>。一つのファンサブにそれぞれの分野に一人が担当すると推定すれば、中国の日本アニメーション・ファンサブは少なくとも 1505 人が働いている。

Table.1 A part of list of Chinese Animation fansub group

ファンサブ名	URL	備考
動漫花園 (DMHY)	http://xdmhy.info/	BTサイト付き
動漫花園直組		動漫花園に所属
動漫花園樹組		動漫花園に所属
動漫花園星組		動漫花園に所属
動漫花園動音組		動漫花園に所属
極影字幕組 (KTXP)	http://bbs.ktxp.com/	BTサイト付き
漫遊字幕組 (POPGO)	http://popgo.org/	BTサイト付き
漫遊FREEWIND		漫遊に所属
唯易 (WiiYi)	http://bbs.wiayi.com/	BTサイト付き

#### ②視聴量

・インターネットテレビである PPS.tv のオンライン視聴によって、最新話に再生量が集中する (Fig.1)。

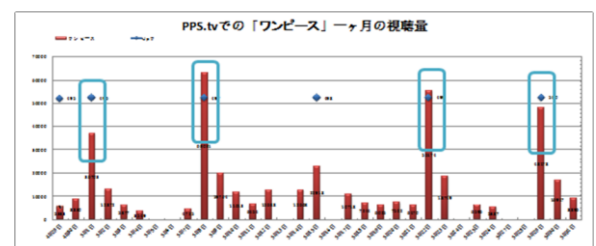


Fig.1 The transition of on-line reproduction of the Onepiece in PPS.tv (4.29～5.31)

・最初にアップロードしたファンサブのダウンロード完了数はかなり高い (Fig.2)。

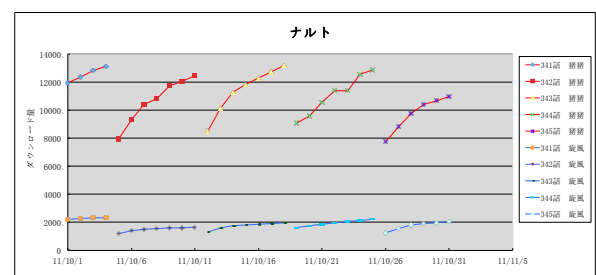


Fig.2 The transition of the Naruto's completion of download (10.1～10.31)

・作品を限定しているファンサブにダウンロード完了数が集中する (Fig.3)。

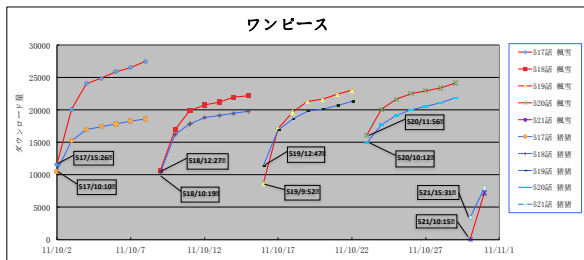


Fig.3 The transition of the Onepiece's completion of download (10.1~10.31)

③視聴人数

「ワンピース」を例とし、中国での視聴人数と日本関東地域での世帯視聴率を比較し、その結果は次のようになる。  
 ・1話と529話の増加は顕著 (Table.2 の青文字)  
 ・中国での最大視聴回数は22,628,490回であり、日本の最大全国視聴者数13,036,398より多い (Table.2 の赤文字)  
 得た結果の一部を示したものが Table.2 である。

Table.2 The comparison with Japanese animation fansub and U.S. drama fansub

土豆の視聴者数		視聴率		全国世帯数×1.39	
1月1日	1月8日	視聴率%	関東世帯数	全国世帯数	全国個人視聴者数
22,596,776	22,628,490	19.1	3,398,081	9,378,704	13,036,398

5 研究Ⅲ：作業工程

5.1 方法

研究Ⅰに述べた文献収集とインタビューである視聴方法は3つある。

5.2 結果

文献とファンサブの元リーダーへのインタビューを通して、ファンサブは長い時間と多大な労力がかかるプロセスを明らかにした。その作業工程は次のようにまとめる。  
 字幕をつける仕事は準備と制作の2つに大別する。

①準備

準備は新番組をチェックし、作業できるメンバーを決め、作業スケジュールを作ることである。

②作業工程

(1)作品の入手、(2)翻訳、(3)翻訳のチェック、(4)タイミング、(5)特殊効果、(6)RAW (作品を加工してない「生」の状態) に入れ込み、(7)圧縮、(8)アップロードの順番である。

中国には日本アニメーション以外、アメリカドラマ・ファンサブも存在している。日本アニメーション・ファンサブとアメリカドラマ・ファンサブの異なることを検証した。

①RAWの入手

アメリカドラマの字幕をアップロードする専用サイトがあるが、日本アニメーション・ファンサブはRAWの入手に関して、メンバーの録画できることを除き、全てP2Pから入手する。

②字幕制作のみ

アメリカドラマ・ファンサブは字幕のみの作業もするが、日本アニメーション・ファンサブは②作業工程に示している全てのプロセスをする。

③プロセスの順番の違い

アメリカドラマ・ファンサブは字幕を完成した優先アップロードする作業があるため、日本アニメーションより作業のプロセスが一つ多い (Table.3)。

Table.3 The comparison with Japanese animation Fansub and U.S. drama Fansub

プロセス	
日本アニメーション	アメリカドラマ
① RAWの入手と転送	① RAWの入手と転送
② 翻訳	② 翻訳
③ 翻訳チェック	③ 翻訳チェック
④ タイミング	④ タイミング
⑤ 特殊効果	⑤ 字幕のみのアップロード
⑥ 入れ込み	⑥ 特殊効果
⑦ 圧縮	⑦ 入れ込み
⑧ 字幕付のアップロード	⑧ 圧縮
	⑨ 字幕付のアップロード

6 研究Ⅳ：メンバーの意識調査

6.1 方法

メンバーにファンサブに関する意識調査を行うため、アンケート調査表を作成し、研究を行う。

①調査表の作成

②調査の実施

期間：2011年6月27日～8月31日

2011年10月1日～10月31日

対象：「動漫之家」のメンバー

他のファンサブに所属するメンバー

方法：インターネットによる調査票配布

③調査分析—単純集計

回答者が少ないため、単純集計での分析に留めを得なかった。

6.2 結果

ファンサブ・メンバーに対して、個人属性、ファンサブの実態、違法実態と正規化への認識、視聴実態を大別にして、意識調査を行った。その結果は全てを示すことができないため、強い傾向を表した結果を下記にまとめる。

①メンバーの年齢につれ、ファンサブの仕事辞めた人が多い (Fig.4)。

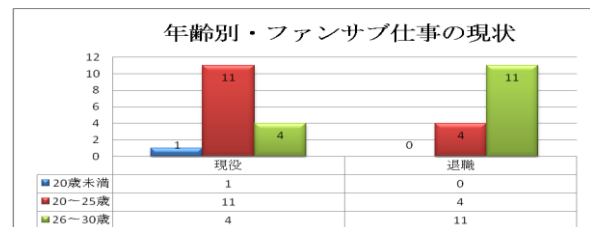


Fig.4 The composition of member's age and work

②日中アニメーションの比較から、日本アニメーションの質は全体的に中国のより優れている (Table.4)。

Table.4 The comparison of quality with Japanese animation and Chinese animation

	日本アニメーション	中国アニメーション
ストーリー性	✓	
子供向け		✓
大人向け	✓	
制作	✓	
オリジナル性	✓	
昔の作品よりの質低下	✓	
爱国教育		✓
人物設定	✓	
音楽	✓	
アニメーションの質	✓	
声優	✓	
感動性	✓	
人に考えさせること	✓	
アメリカアニメーションとの比較	✓	

③政府によるネット統制への影響は強い (Fig.5)。

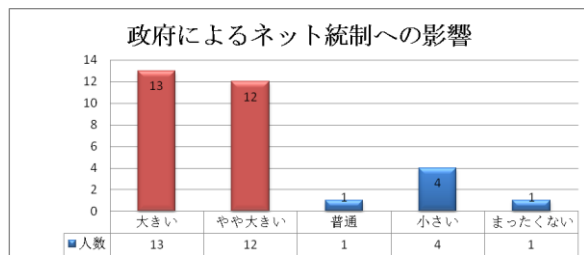


Fig.5 The influence on the net control by the government

④ファンサブが違法かどうかの認識差違は大きくない (Fig.6)。

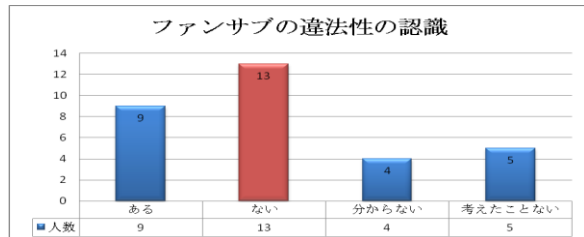


Fig.6 The comparison of important charge

⑤ファンサブの報酬は全て無給である (Fig.7)。

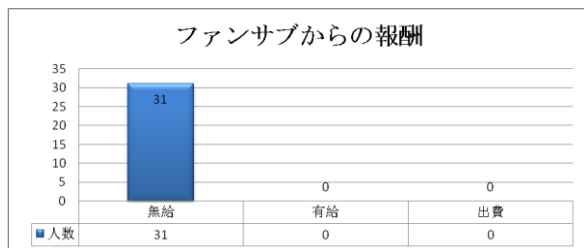


Fig.7 The remuneration from fansub

⑥ファンサブに対して、違法と思うかどうか、多数のメンバーはファンサブの将来について変えてほしい意思が強い (Table.7)。

Fig.7 The statistics of illegal and possibilities

(単位：人)	今のままのほうがいい	変わったほうがいい	合計
違法	2	7	9
違法ではない	3	10	13
分からない	1	3	4
考えたことない	1	4	5
合計	7	24	31

⑦映画・DVDの利用者は正規版の購入意思が強い (Table.8)。

Fig.8 The statistics of DVD user and the regular version's purchase intention

(単位：人)	買う	買わない	事情による	合計
ある	4	1	1	6
たまにある	12	3	1	16
ほとんど無い	2		3	5
ない	1	3	0	4
合計	19	7	5	31

## 7 まとめと考察

本研究の結果の概要は下記の通りである。

- ①ボランティアでファンサブの作業をするメンバー数は日本のアニメーターを超える可能性がある。
- ②ファンサブによる視聴者数は日本のTVの視聴者数より多い可能性がある。
- ③ファンサブに対する違法性の認識は低い。
- ④ファンサブの存続は中国政府の方針に関わっている。
- ⑤ファンサブに関する正規市場を構築する可能性がある。

本研究では中国ファンサブの誕生、歴史、発展、視聴手段、視聴量、作業工程、メンバーへの意識調査について初めての総括的研究を行った。今まで学術研究は少なく、本研究は初めてファンサブ視聴量を検証し、メンバーに意識調査を行い、ファンサブに関する定性的な研究であった。民間組織であるファンサブの参加者は無償で働くのに対し、海外では著作権侵害などの問題があり、ここまでの実証的研究は極めて少ない。

ファンサブは中国政府に厳しく規制されている海外映像作品を見るために、中国の視聴者にとって欠かせぬ存在となっている。限定されるメンバーへの意識調査を通して、ファンサブが海外で違法行為であると認識していても、中国国内では違法ではないと考えるメンバーが多い。それでも、中国ファンサブの生存に直接関わるため、正規ビジネスになり、将来を変えて欲しいとメンバーが強い意思を表した。調査の分析によって、メンバーの意識はファンサブの将来を決定できず、中国政府に関わっていると分かった。

本研究は中国ファンサブに関する初めて学術研究であり、その特殊性、個人研究の限定があるため、大規模なデータ収集と調査はできなかった。本意識調査の対象は必ずしも本当のことに選択したかどうか検討できなく、量の少なから中国全体的なメンバー意見を代表しているものとは言えないため、これについてはさらに検証するべきである。ファンサブの継続を希望する多くのメンバーの願望からすると、今後ファンサブに関する正規市場を構築する可能性があり、その方法をさらに研究する必要がある。

## 文献

- 1) 呉燦：「伝播学視覚下的国内日本動画字幕組研究」中南大学修士論文、(2010)
- 2) 賈涛：「中国における映像コンテンツの流通実態と新流通システムに関する研究」東京大学修士論文(2009)
- 3) 外務省：「平成 21 年度東アジア地域における日本コンテンツの知財侵害状況調査」、(2010)